

平成28年度朝霞市学校評価(共通項目)評価書

※ 学校関係者評価の説明欄については評年度との比較において変化の見られた項目のうち主な内容を示す

柱	No.	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え(本校の課題と改善策 ■=課題 ○=改善策)	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ◎各教科・道徳・特別活動などの年間計画に沿って実施できていますか。 ■行事と行事の間隔が短く、時間的に余裕がない。 ○学校行事については、実施内容や実施学年について引き続き検討してまいります。 ○自習が出ることによって年間計画に沿っての実施が難しい状況があるため、出張の場合には、その状況を1週間前に全体に周知してまいります。また、お互い出張の状況を確認し、授業交換を積極的におこなってまいります。 ◎校務分掌の組織・各係の責任が明確になっていますか。 ◎校務分掌の分担は偏ることなく適切になっていますか。 ■各係の役割や責任の範囲があいまいな部分があるため一度検討する必要があると考える。 ■学年主任の分担が多い。職員によって出張が非常に多い。分掌や出張の負担が偏っているため調整すべきである。 ○校内の各種委員会の組織について検討してまいります。 ○人権教育・生徒指導・安全教育など出張の多い分掌については、複数での対応など組織の見直しを図ってまいります。 	A	本項目のアンケートでは、保護者、生徒ともに85%以上が肯定的な回答であった。また、教職員の自己評価においても、昨年度に比べ大幅に良くなっている。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ◎安全点検・安全管理は徹底されていますか。 ○安全点検日を設け教職員が一斉に行っております。また、日常から教職員側の安全意識を高めるため、見回りをしたり、清掃時間などを活用し(破損など)生徒からのフィードバックを行ったりする事を実施しております。 ◎校内の事故防止の指導がおこなわれていますか。 ■廊下を走る生徒が多い。授業に遅れないようにする気持ちはわかるが、安全面では非常に危ない。 ○廊下を走らないよう安全に対する生徒指導を徹底してまいります。 ○チャイムによる授業の開始・終了を徹底してまいります。 ○積極的に清掃に取り組む生徒が育っていますか。 ■清掃前に着替えをするため開始時間にばらつきが出てしまっている。 ○速やかに着替えを行い、開始時間のばらつきを短くしてまいります。 	A	部活動によっては、終了時刻が遅く、帰宅時間が遅いという意見もあるが、安全・安心の確保については生徒、保護者とも肯定的意見が多くなっているためA評価とした。
基礎学力の定着	3	本校の生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ◎教科部会を開き、指導法等の話し合いが十分にできていますか。 ○状況に応じて教科部会を開催してまいります。また開催のための時間確保に努めてまいります。 ◎諸調査やテスト結果を分析し、基礎学力の定着を図る工夫をしていますか。 ○分析のための時間確保をし、教科部会で検討できるようにしてまいります。 ◎評価基準Cの生徒へ対応が十分にできていますか。 ○家庭との連携が重要であると考えております。家庭へは担任を通じて連絡するようにし、三者面談などを活用してまいります。 ◎生徒が主体的にチャレンジ学習に取り組む指導ができましたか。 ■今年度は、チャレンジ学習の回数が適切でないのではないかと。 ○チャレンジ学習を委員会の日以外は毎週計画的に実施してまいります。 ◎朝自習をとって、学習意欲を高めることができましたか。 ○図書委員会で「(図書室の)学校おすずめの本」といった資料を作成し、内容の充実した本を読む指導をしてまいります。 	A	学力調査結果は概ね県平均と同等であるが、生徒、保護者の中では、基礎学力を確実に定着させるための取組を一層充実させていきたいといった要望がある。
	4	学校は、学力向上をめざし、生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ◎指導・評価を行い、生徒の実態に応じ展開を工夫していますか。 ○年度当初に各教科のシラバス、観点と評定の関係、評定算出の際の配慮事項などの確認を職員全体で行い、教科間で共通理解してまいります。 ◎総合的な学習の時間において、個の特性を理解し、計画的・継続的に支援できましたか。 ○現状を改善し、3年間を見据えた年間計画を策定し、課題を解決する力や知識技能を活用できる内容にしてまいります。 	A	自己評価が昨年に比べて上昇しており、授業参観からも授業改善の努力がうかがえた。
規律ある態度の育成	5	本校の生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身につけている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ◎身だしなみや礼儀を正しくする態度が育成されていますか。 ○中学生としてふさわしい頭髪について、引き続き指導をおこなってまいります。また、年度当初も含め、全体で確認する場を設け、新入生の時から頭髪について、一貫して指導をおこない、定着をはかってまいります。頭髪については、肩にかかる場合は結ぶように、生徒手帳「生徒心得」に記載します。 ◎活動の時刻を守るけじめある態度が育成されていますか。 ■下校時刻に対して学校全体として意識が低い面があるように感じる。 ○下校時刻を学校全体にきちんと意識させるとともに、限られた時間を有効に活用できるよう活動時間、活動内容の一層の充実を図ってまいります。 	A	「あいさつができる」という五中の伝統が確実に守られている。
	6	学校は、生徒の実態把握に基づき、「規律ある態度」の指導の工夫改善に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ◎全職員の共通理解のもと、協力して指導ができていますか。 ■共通理解という点では、足りない部分がある。 ○年度当初の情報交換を早やめに実施し、生徒指導部会・教育相談部会の内容を全教職員で共有化を図り、共通理解のもと協力して指導をおこなってまいります。 ◎学校朝礼・生徒朝礼の内容は適切でしたか。 ■朝礼の終了時間が伸びて、1時間目の授業に影響がでることがあった。 ○表彰は、生徒に自覚と自己肯定感の育成に大きな効果があるため、今後もできる限り実施してまいります。ただし、授業に影響が生じることがないように、移動時間短縮の工夫や、事前に表彰者を横に並ばせる等効率よくおこなってまいります。 ○当日の朝の打ち合わせの時間内の終了を徹底してまいります。 ◎学年朝礼は年間を通して、計画的に実施してまいります。 	A	本項目では、保護者の40%がA評価をしており、B評価も合わせると、94%の保護者が肯定的な回答をしている。日頃からの取組の成果がでている。
健康・体力向上	7	本校の生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力を高める工夫を組織的に図っていますか。 ■授業としての体力向上はあったが、学校全体の取組とはいえない。 ■体育科の教員が体力推進委員になっている。 ○今後、学校全体として取り組めるよう、一層の体力向上策を検討してまいります。 ○今後、小学校と連携を取りながら体力向上の働きかけを行ってまいります。 	A	朝霞五中は体育が盛んである。「体育の時間が楽しい」と感じている生徒の割合が県平均よりも高く、体育の授業に積極的に参加している生徒が多い。
	8	学校は、生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ◎健康についての生徒の理解・態度・習慣は高まっていますか。 ■心の健康についての理解が低い。 ○学校保健委員会や1学期にストレスマネジメントについての指導を行う時間を設けてまいります。 ○今年度は保健委員による衛生点検を実施しました。これまで実施していた歯磨きキャンペーン・手洗いキャンペーンについても継続して実施できるか検討してまいります。 	A	
保護者・地域との連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ◎ふれあい推進事業について運営の仕方、活動内容は適切でしたか。 ■手伝う内容、人数について担当から事前に知らせてほしい。 ○5・6月の職員会議でふれあい推進事業について職員に通知し、9月中旬までには内容等通知できるように三小と調整してまいります。 ◎地域の教材・題材を活用して、授業を展開できましたか。 ○3days、鳴子、部活動の外部指導者、書写指導など地域(人材)を活用しているところに目を向けつつ、今後は博物館・図書館の活用を進めてまいります。 	A	保護者アンケートの結果でもA・Bの評価が89%と昨年度より4%上昇しており、取組の成果がでている。学校としての課題と改善策が明確になっている。
	10	保護者や地域は、学校の安全指導、健全育成を推進している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ◎安全指導・健全育成は適切におこなわれていますか。 ○校外のバトロールや民生委員児童委員との懇談を引き続き充実させてまいります。 ◎交通安全の指導が適切に行われていますか。 ○安全指導は年度当初の交通安全教室や学校朝礼、長期休業日前、大会前等に実施しております。 ◎防犯の指導は適切に行われていますか。 ○不審者情報提供時だけでなく、日頃からの声かけをおこなってまいります。 	A	保護者アンケートの回収率が50%をやや上回る程度である。
その他	11	学校は、心身共に健康で安全な生活が送れるように、教育環境の整備に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ◎設備・備品の管理が十分になされていますか。 ○長期休業日を活用し、教室の整理整頓を行う。 ○不要なものは確認して、廃棄処分してまいります。 ○準備室等を有する教科担当は、その点検や備品の管理徹底をおこなってまいります。 	A	設備・施設の活用に関して、教職員の45%がA評価をした。今後もさらなる活用を望みたい。
	12	学校は、学校行事を通して生徒の集団への所属感を高め、学校生活の充実に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ◎合唱コンクールにおいて練習や発表を通じて、クラスの調和と協力する態度を育てることができましたか。 ■ポスターを描く生徒が練習に参加できないことがある。 ○クラス曲は1学期末には決定するので、ポスター作りを夏季休業中にできるようにしてまいります。 ◎体育祭の練習期間は十分でしたか。 ■体育の授業時間を中心に練習をおこなったため、体育の授業で毎時間の種目を確保するのが大変であった。 ○限られた練習時間の中で、成果の上がる効率のよい練習をおこなっていくことで、体育の授業時間の確保を進めてまいります。 	A	体育祭、合唱コンクールなどの行事でクラスの絆を深めている
	13	学校は、生徒会、委員会活動に積極的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> ◎生徒総会に向けて十分な取組ができていましたか。 ○質問項目を精選し、学校として対応できる内容であるか、生徒総会で審議する議題であるかを精査し、学校独自で可能なものについては改善等をはかってまいります。 ◎部活動の時間が確保されていますか。 ■冬季の下校時刻が早く、部活の活動時間が短くなっている。 ○冬季の下校時刻が早まる理由を生徒にきちんと理解させるとともに、限られた時間を有効に活用できるよう活動時間、活動内容の一層の充実を図ってまいります。 	A	委員会活動を通して生徒の自主的活動が多く見られた。美化コンクールや衛生点検など各委員会ごとに生徒主体の取組が行われた。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入
Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満